

# 井手町 議会だより

第29号

平成22年(2010年)  
5月発行

発行 井手町議会  
編集 議会広報編集委員会  
京都府綴喜郡井手町井手南玉水67  
☎ 0774-82-6172 (直通)  
<http://www.town.ide.kyoto.jp/>



元気ハツラツ今日から新1年生（井手小）



おかあさんにダッコされ入園（玉川保育園）

## も く じ

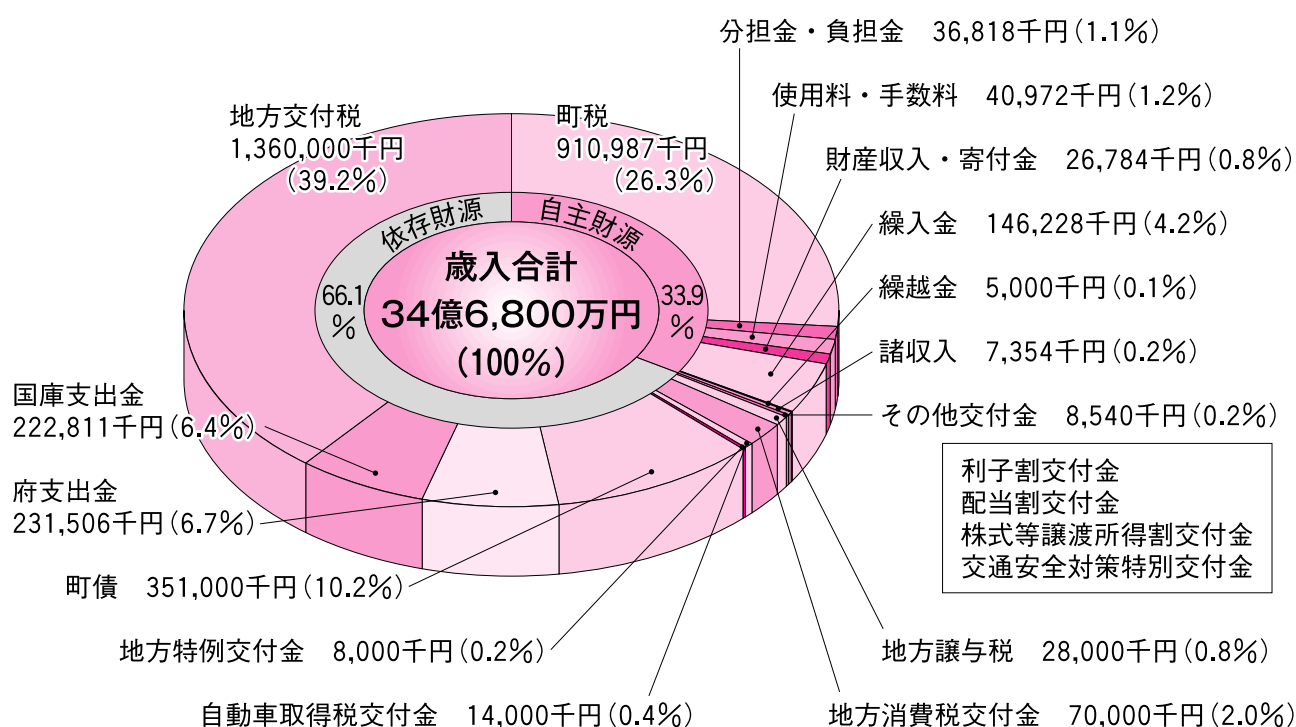
- 平成22年度予算 ..... 2P
- 予算の主なつかいみち ..... 3P
- 2月・3月議会で決まったこと ..... 5P
- 町政を問う・一般質問 ..... 8P
- ボランティアサークル紹介・編集後記 ..... 14P

# 平成22年度 予算総額58億5143万円

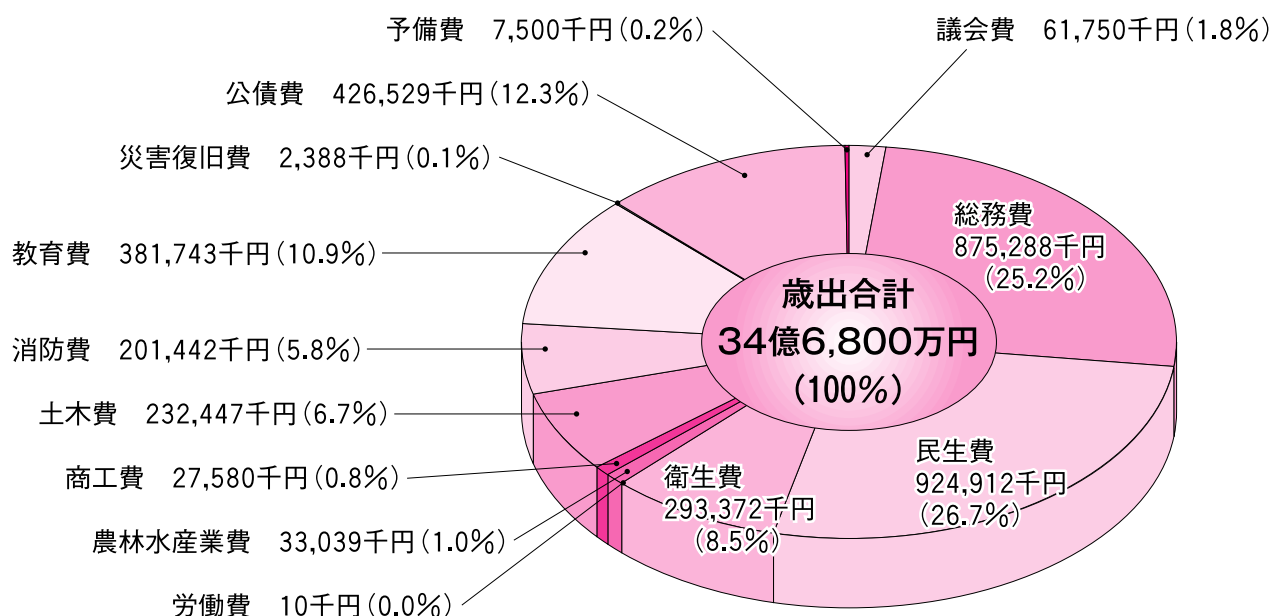
## 一般会計予算 34億6,800万円

(住民1人あたり約41万5千円)

### 歳入合計 前年度より 7,200万円増額の積極予算



### 歳出合計 福祉と教育に重点配分



# みんなの税金のつかいみち

● は新規事業

## 安心して暮らせるまちづくりに

|                 |            |
|-----------------|------------|
| ● 消防委託料         | 1億 4,887万円 |
| ● 消火栓ボックス・消火栓設置 | 193万円      |
| ● 交通安全施設整備      | 179万円      |
| ● 防犯カメラ設置       | 100万円      |
| ● 防災訓練費         | 105万円      |



防犯カメラ設置予定の山城多賀駅東口

## 教育・子育て支援に

|                       |            |
|-----------------------|------------|
| ● 放課後児童クラブ            | 867万円      |
| ● 就学援助費               | 510万円      |
| ● 子ども手当等              | 1億 4,766万円 |
| ● 乳児検診・教育相談・育児相談      | 196万円      |
| ● 福祉医療費(子育て・身障・父子・母子) | 6,522万円    |
| ● 多賀小プール改築            | 9,685万円    |
| ● 子どもの読書活動推進事業        | 26万円       |

## 障害者・高齢者のために

|               |         |
|---------------|---------|
| ● 障がい者自立支援事業  | 9,878万円 |
| ● 敬老事業        | 633万円   |
| ● 老人医療        | 2,241万円 |
| ● 後期高齢者医療費負担金 | 8,337万円 |
| ● 地域生活支援事業    | 1,126万円 |
| ● 高齢者住宅改修助成   | 36万円    |



## 健康推進事業に

|              |         |
|--------------|---------|
| ● 健康増進事業     | 1,111万円 |
| ● 予防接種事業     | 1,988万円 |
| ● 高齢者人間ドック助成 | 30万円    |
| ● 妊婦健康診査     | 786万円   |
| ● 女性特有のガン健診  | 245万円   |

## 快適な生活のために

|            |         |
|------------|---------|
| ● バリアフリー整備 | 1,111万円 |
| ● 各区街灯助成   | 152万円   |
| ● 町道の維持補修  | 636万円   |
| ● 河川水路維持補修 | 657万円   |

## まちの活性化のために

|                   |       |
|-------------------|-------|
| ● 桜まつり            | 468万円 |
| ● 商工会設立50周年記念事業補助 | 100万円 |
| ● 町商工会振興事業補助      | 750万円 |
| ● まちづくりセンター椿坂管理委託 | 148万円 |
| ● 源氏ボタル保護         | 31万円  |



「のぼり」を掲示したプレミアム商品券取扱店

## くらしの周辺整備に

|                |         |
|----------------|---------|
| ● 下排水路改修       | 2,833万円 |
| ● 再生資源集団回収事業補助 | 121万円   |
| ● 公園管理         | 116万円   |

## 住民の学習・交流・スポーツ活動支援に

|                    |         |
|--------------------|---------|
| ● 文化祭              | 314万円   |
| ● 玉川砂防公園整備         | 1,999万円 |
| ● 地域スポーツ活動         | 72万円    |
| ● 山吹ふれあいコンサート      | 11万円    |
| ● 生涯学習推進事業         | 36万円    |
| ● 豊かな緑と清流を守る森林整備事業 | 50万円    |

# 平成22年度 会計別予算

| 会 計 名            |                     | 予 算 額       | 前年度比   |
|------------------|---------------------|-------------|--------|
| 一 般 会 計          |                     | 34億 6,800万円 | 2.1%   |
| 特<br>別<br>会<br>計 | 国 民 健 康 保 険         | 11億 0,011万円 | -2.0%  |
|                  | 井 手 町 水 道 事 業       | 1億 6,737万円  | -56.2% |
|                  | 多 賀 地 区 簡 易 水 道 事 業 | 4,474万円     | -24.7% |
|                  | 公 共 下 水 道 事 業       | 3億 9,058万円  | -10.9% |
|                  | 老 人 保 健             | 53万円        | -58.6% |
|                  | 介 護 保 険             | 5億 9,467万円  | -5.3%  |
|                  | 後 期 高 齢 者 医 療       | 7,924万円     | -4.9%  |
|                  | 多 賀 財 産 区           | 619万円       | 117.7% |
| 合 計              |                     | 58億 5,143万円 | -4.3%  |

## 町長の予算編成方針(要旨)

本町は、特に若者の転出による人口減少問題と少子高齢化が町の活力低下をまねき、教育・福祉、行財政運営等に影響をあたえている。

22年度の予算編成基本方針は、まちづくりの主人公は住民との認識のもと、生活基盤の整備・拡充、福祉の充実、健康増進、諸施設の整備・充実、人権啓発などを積極的に進める。

特に、バリアフリー化の推進、子育て医療費助成の継続、障がい者福祉施設の実現に取り組む。

さらに、環境対策として公共施設への太陽光発電装置の設置、エコ防犯ソーラーライト整備、LED照明の導入で地球温暖化対策実行計画の5年間目標を1年間で1.5%上回ることが可能となる。

## 賛成討論

社会保障関係経費の自然増や借入金償還により、将来の地方財政運営が圧迫されることが懸念される。

本町では厳しい財政構造が続いているが、早くから行財政改革に取り組んできた効果がうかがわれる。予算総額は対前年比2.1%増で、税収の落ち込みが見込まれる中でも積極的な姿勢が見受けられ、地域経済や町の活性化につながる予算である。

地球温暖化対策、バリアフリー、子育て支援医療、通学路の安全確保、玉川砂防公園整備など、子どもからお年寄りまであらゆる世代に配慮した環境や人に優しい予算であり、住民の声に基づいた予算といえる。

村田 忠文

## 討 論

## 反対討論

住民に一番身近な町政が、住民の暮らしと営業の深刻な実態を把握し、住民の命を守り、暮らしと営業を応援する心のこもった施策を行うことが求められている。

一時保育が実施されておらず、多子世帯の保育料軽減は一步前進だが改善が必要。子ども手当にあえて反対はしないが、給食費や保育料の無償化、学童保育や保育所の充実、教育施設の整備に充てるべき。

国保では、親の滞納で無保険状態になる子どもを放置しないよう、短期証交付対象拡大を速やかに。介護保険では、保険料の軽減と利用料助成を強く求める。

谷田みさお

# 2月臨時議会で決ったこと

## 同意案件

### ●工事請負契約に ついて

#### 契約の対象

井手町立小・中学校

#### 契約金額

50295千円

#### 履行期限

完成年月日

平成22年3月30日

#### 契約の相手方

大阪市淀川区宮原

1丁目2番33号

パナソニックシステム

ソリューションズ

ジャパン(株) 関西社

社長 片倉達夫

#### 契約の方法

一般競争入札による契約

(賛成 全員)

## 専決処分の報告

### 平成21年度 補正予算

#### ●一般会計(第4回)

老朽化による建物の劣化により、旧井手町営山

(賛成 全員)

## 3月議会で決まったこと

### 制定した条例

#### ●多賀地区

#### 簡易水道事業

#### 減債基金条例

水道の石綿管交換に伴う、府からの補助金(5年間交付)の受け皿として基金を創設するものです。

(賛成 全員)

### 改正した条例

#### ●職員団体のための 職員の行為の制限の 特例に関する条例

21年11月30日付地方公務員法の一部改正に伴うものです。

(賛成 全員)

### ●井手町立保育所の 設置及び管理に 関する条例

1家庭で3人以上の児童が保育所に通う場合、3人目以降は保育料を無料とする負担軽減策です。

(賛成 全員)

## その他

#### ●平成21年度

#### 城南市町村税

#### 滞納整理組合

#### 歳入歳出

#### 決算の認定

組合が21年12月31日付で解散したことによる最終決算で、歳入4123万円 歳出3893万5千円 実質収支額は229万5千円となり、井手町分として15万3283円が還付されます。

(賛成 全員)

#### ●京都南部

#### 都市広域行政圏 推進協議会の廃止

昭和54年11月15日に発

足したのですが、22年3月31日付で廃止されました。

(賛成 全員)

## 補正予算

#### ●一般会計(第5回)

泉ヶ丘中学校の通学路(町道44号線)道路改良に2122万円、小・中学校の施設整備に1150万円、町道整備に4300万円が主なもので、総額5937万円を追加するものです。

(賛成 全員)

#### ●公共下水道事業

#### 特別会計

(第2回)

木津川流域下水道維持管理負担金が主なもので148万3千円を追加するものです。

(賛成 全員)

#### ●国民健康保険

#### 特別会計

(第2回)

介護従事者処遇改善臨時特別交付金が交付されたことに伴うもので、71万9千円を追加するものです。

(賛成 全員)



# ごあいさつ

議長 木村 武 壽

風薫るさわやかな季節を迎え、住民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は、町議会に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る四月三十日の臨時会におきまして、議員のご推挙により、不肖私が議長の重責を務めさせていただくことになりました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

私は、議会議員として二十年、井手町の発展と住民福祉の向上、並びに人権問題等の解決に向けて努力してまいりました。ここに、皆様のご推挙を受けましたうえは、身を挺してそのご厚情に對しお報いする覚悟を新た

にしているところであります。

議会運営につきまして、は、公正無私を旨とし、言論の府として、町議会が円満に運営されますよう誠心誠意努力する所存であります。

さて、世界経済は、「百年に一度」といわれる金融危機により大不況となり、日本経済も、その影響を大きく受け、今やデフレスパイラルに陥りかけない経済事情であります。企業の生産量の削減等により、多くの失業者を生み出し、雇用の先行き不安な状況が続いています。

今年の国の予算は、建設事業費の大幅な削減であり、土木建設業の多い井手町にとって、大変厳しい事態であります。また、本町は、人口の減少という大きな課題を

抱えています。

これらの課題を克服することが、住民生活の安定に繋がるものと考えます。そのためには、JR奈良線の全線複線化、町北部丘陵地の白坂地区の産業ゾーンとしての開発、町の東部に宇治木津線の道路新設などの早期実現が必要であります。

住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを目指し、議会と行政が力を合わせ、全力で職責を全うする覚悟であります。

今後とも、住民の皆様をはじめ関係各位のご支援、ご協力を心からお願い申しあげまして、就任のごあいさつといたします。

副議長

古川 昭 義

監査委員

森 田 泰 雄

## 新しい議会構成が決まりました

### 総務文教 常任委員会

■委員長 岩田 剛  
■副委員長 木田 鈴美  
■委員 村田 晨吉  
■委員 森田 泰雄  
■委員 村田 忠文  
■委員 木村 武壽

### 議会運営委員会

■委員長 丸山 久志  
■副委員長 中坊 陽  
■委員 岡田 久雄  
■委員 岩田 剛  
■委員 古川 昭義  
■委員 谷田みさお

### 産業厚生 常任委員会

■委員長 岡田 久雄  
■副委員長 西島 寛道  
■委員 古川 昭義  
■委員 丸山 久志  
■委員 中坊 陽  
■委員 谷田みさお

### 議会広報 編集委員会

■委員長 木田 鈴美  
■副委員長 西島 寛道  
■委員 古川 昭義  
■委員 村田 忠文  
■委員 中坊 陽  
■委員 谷田みさお

### 城南衛生管理 組合議会

■議員 岡田 久雄  
■議員 村田 忠文

### 京都府 後期高齢者医療 広域連合議会

■議員 中坊 陽

### 京都地方 税機構議会

■議員 木田 鈴美



## 新しい議員が決まりました!

平成22年4月30日現在・議席順・敬称略



4番 岡田 久雄 議員



3番 木田 鈴美 議員



2番 村田 晨吉 議員



1番 西島 寛道 議員



8番 村田 忠文 議員



7番 古川 昭義 議員



6番 森田 泰雄 議員



5番 岩田 剛 議員



12番 木村 武壽 議員



11番 谷田みさお 議員



10番 中坊 陽 議員



9番 丸山 久志 議員

# 町政を問う

一般質問に5人の  
議員が登壇

## 岡田 久雄 議員

- ◆ 災害時要援護者の避難支援対策への取り組みについて
- ◆ 一時保育事業実施について

## 木村 武壽 議員

- ◆ 商業・法人登記等の証明書の発行について
- ◆ コンポストの利用状況について

## 村田 忠文 議員

- ◆ 文化協会の設立について
- ◆ 町道22号線道路改築工事について

## 谷田 みさお 議員

- ◆ 医師不足対策について
- ◆ 買い物支援・町内の交通手段について

## 木田 鈴美 議員

- ◆ 高齢者福祉サービスの充実について
- ◆ 井手町共同墓地の設備について

あなたも議会を傍聴しませんか

お気軽にお越し下さい

定例会は 4回

( 3月・6月・9月・12月 )

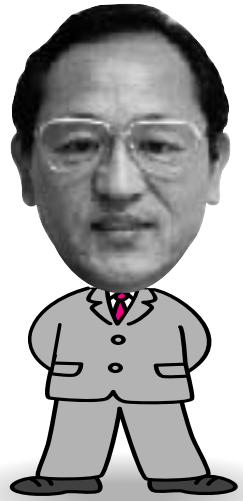
議会は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

傍聴を希望される方は当日、傍聴席入口で受付簿に住所・氏名・年齢を記入して下さい。

井手町議会だよりは、井手町のホームページでもご覧になれます。

<http://www.town.ide.kyoto.jp/>

## 岡田 久雄 議員



## 災害時の避難支援対策は

Q 総務省消防庁は、

全国の1,800市区町村に対して、平成22年3月までの災害時要援護者避難支援マニュアル(全体計画)の策定を求め、

21年3月末現在の避難支援対策への調査結果を公表した。

全体プラン策定済みは576自治体、策定中の市区町村を合わせると1125自治体(62.5%)となっている。

また、災害時に支援が必要な高齢者や障害者などの名簿は、1196自治体(66.4%)が整備中である。

一人一人の具体的な支

援方法まで定めた個別プランを策定中の市区町村は726自治体(40.3%)となっている。

要援護者支援に向けた取り組みが全国的に進められ、本町においても着々と取り組みされていると思う。

20年3月議会で地震災害に強い安心・安全なまちづくりについてや、災害時における要支援者名簿の作成をはじめ今後の取り組みについて質問した。その後の経過はどのようなになっているのか。

①65歳以上の高齢者数、高齢者夫婦のみの世帯数。ひとり暮らしの高

齢者世帯数構成比率は。

②災害時要援護者支援マニュアルの全体計画および個別プランの作成取り組み状況は。

③災害時要援護支援者・配慮者名簿の対象者数・登録者数と比率、制度

の周知は。

④個人情報保護の観点から名簿を共有し救助する組織はどこか。

安否確認・避難方法・避難勧告の方法は。

⑤避難準備や勧告を出す水位基準は。

総務  
西島理事

## 各区自主防災組織に配布済

A ①高齢者世帯の状況は下表の通り。

②20年8月に作成し各自主防災組織に配布説明した。

今後個別プランについては、具体的に検討する。

③災害時要配慮者の対象者850人・登録者152人(17.9%)。

広報などさまざまな方法で周知徹底したい。

④名簿を共有している組織は町の関係各課・民生児童委員・消防署・消防団・社会福祉協議会・自主防災組織・地域支援者。

安否確認等の方法はマニュアルに定めており、

地域防災計画の発令基準をもとに総合的に判断。

⑤木津川は、

水位3.5mで避難準備、4.6mで避難勧告、4.7mで避難指示。

洪川・玉川・南谷川・青谷川は定められていない。



21年度井手町防災訓練

## — 高齢者(65歳以上)世帯の状況 —

|             | 平成2年   | 平成7年   | 平成12年  | 平成17年  |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 高齢者数        | 1,135人 | 1,432人 | 1,706人 | 1,984人 |
| 高齢者比率       | 12.3%  | 15.2%  | 18.7%  | 22.1%  |
| ※高齢者世帯数     | 32     | 62     | 119    | 121    |
| 高齢者世帯比率     | 1.2%   | 2.1%   | 3.9%   | 3.7%   |
| ひとり暮らし世帯数   | 65     | 64     | 129    | 160    |
| ひとり暮らし世帯数比率 | 2.3%   | 2.1%   | 4.2%   | 4.9%   |

※一人暮らしを除く高齢者のみの世帯

総務  
西島理事

## 良い方策を検討

A 調査したが利用が定期的に見込まれなかったことなどから実施に至っていない。今後良い方策を検討する。

## 一時保育の実施は

Q 次世代育成支援行動計画では21年度目標と

して一時保育事業の実施と記されているが。

## 木村 武壽 議員



## 登記等の証明書の発行について

**Q** 京都地方法務局京田辺出張所は21年7月に廃止され、商業・法人登記簿等の証明書の発行事務が京田辺市から宇治市へ引き継がれた。井手町を含む旧綴喜郡の利用者には非常に利用しにくい。旧所在地の地域についての証明書の発行については近隣の市町村の同意により機器を設置できると聞いているが、本町に設置できないのか。

民生  
池田理事

## 発行機設置は無理

**A** 京都地方法務局京田辺出張所の廃止で、これまで取り扱われていた城陽市、八幡市、京田辺市、宇治田原町と井手町に係る土地・建物の登記事務並びに商業・法人登記の証明書の発行事務は、京都地方法務局宇治支局で取り扱われることとなった。

本町への証明書発行請

求機の設置については、京都地方法務局宇治支局に聞いたところ、対象となるのは、京田辺市の役所及び京田辺市内の公益的施設内とのことから、本町は対象となっていない。



廃止された旧京都地方法務局京田辺出張所

## コンポストの利用状況は

**Q** 町長はいつも自然と調和の取れた活力のある町の実現に向けて、みんなで取り組む姿勢をと

本年度は電気式1件・コンポスト2件の申請があった。今



電気式自家用処理容器

**A** コンポストの利用状況については、平成8年度から自家用処理容器の助成を行なってきたが、利用状況は、18年度には、2件・19年度は1件・20年度2件いずれも電気式の処理機である。

後も生ゴミ自家処理機の助成制度のPRをはじめ、ごみの減量に向けた取り組みを進めていく。

事業  
村田理事

## 助成制度のPRに努める

訴えている。ゴミの問題については、地球環境を考えたとき、リサイクル・分別を進めるなど、自浄努力が大切である。

段ボールでコンポストを自分で作り利用する人もいる。他市町村では、無料で貸し出しするところもあると聞くが、井手町における現状と今後の取り組みは。

村田 忠文 議員



## 文化協会の設立は

**Q** 昨年の7月24日国民文化祭井手町実行委員会設立総会が開催された。

町長は総会のあいさつの中で、「国民文化祭を契機に、文化関係団体の総意で井手町文化協会の設立に向けた機運の盛り上がりをお願いしている」と述べた。

文化協会は以前から幾度も設立に向けた動きは

あったが、今なお設立に至っていない。私も、この国民文化祭を契機に協会が設立できれば、地域文化の活性化と文化の向上に大いに役立つと考える。

実行委員会設立以降、

文化協会の設立に向けての動きは、設立の時期は、どのような文化協会を

目指しているのか本町の考えは。

町の一層の活性化と文化振興が図れると期待している。

文化団体・関係者に設立に向けた準備委員会の発足を呼びかけ、2月18日の第1回準備委員会で委員長・副委員長の役員体制を整え、設立に向け早期に準備を進めることを確認した。

3月1日には第2回準備委員会を開催し、規約

案などが検討された。

文化協会設立については、来年度の早い時期の設立が望ましいと考える。

協会の目指すところは、現在準備委員会で検討中で、多くの文化関係団体が入り、住民の励みとなる行事や、他市町にも本町の文化を発信するイベントを開催し、町の一層の活性化につながるものになればと考える。

## 町道22号線改築工事は

**Q** 2月19日の京都新聞に「土地収用法第15条

14に基づく事前説明会」

のお知らせとして、町道

22号線道路改築工事の説明会を実施する旨の記事が載っていたが、町道22

号線はこれまでから住民

要望も高く、議会でも再三質問があったと記憶している。

今回の説明会の目的と、今後の土地収用までの見通しは。



改築工事が予定されている町道22号線

## 事業 村田理事

### 土地収用法を適用し 用地取得

**A** 町道22号線道路改築工事は、道路幅員が狭小な上、急カーブが連続しており車両の離合もできないため、多くの住民から道路拡幅の要望が出されてきた。

この道路は平成2年度に事業着手、6年度から地権者との任意交渉による用地買収を行い、道路改築工事を実施してきた。再三の要請にもかかわらず、交

一部契約のできない土地があることから、土地収用法の適用を行うに当たり、府知事から事業の認定を得る必要がある。

したがって土地収用法第15条14の規定に基づき説明会を実施した。

説明会開催後府知事へ事業認定申請を行う。本町が2週間の広告縦覧を行い、府が申請内容を審査、事業内容の告示を行う。

同時に本町が看板を設置し周知措置を実施。

その後、収用委員会に採決申請を行い、審査のうえ採決後補償金を支払い土地の収得が完了する。手続に2年間程度必要であり、土地収得が完了後工事着手となる。

今回の説明会の目的は、



## 教育 加賀山次長

### 22年度に出来るだけ早く設立

**A** 文化協会の設立については、長年の懸案となっている課題である。

本町としても国民文化

祭・川柳の祭典開催を契

機に、文化関係団体総意のもと、機運を盛り上げ

協会が設立できれば、本

谷田 みさお 議員



## 医師不足対策は

Q 町内に、日常の疾病を総合的に診察する診療所は3施設しかない。

そのうち1軒が3月末で診療を終了される。

全国平均から医師数や病院と診療所を合わせた施設数を換算すると、本町では17人、7施設程度となるが、実際には、5人、4施設しかない。医師も、診療施設も不足しているところに、1軒なくなることは大変な問題である。

診療所がなくなれば、歩いて行ける診療所がなくなり、訪問医療をお願いできるかかりつけ医を

失うことになり、住民不安が高まっている。

さらに、町内の医師には通常の医療だけではなく、学校医、園医、予防接種など様々な住民保健の担い手としての役割を果たしていただいている。何とか存続できるように、行政としての対応が必要ではないか。

本町のような医師や医療施設の少ない小さな町の医療は、ますます危機に陥いるおそれがある。

町村会などを通じて地域医療を守るために有効な診察報酬の再改定を求める考えはないか。

民生  
池田理事

## 地域医療対策などを 国・府に要望

A 現在町内では5軒の医療機関が開業されている。全国平均の数値をもつて、町の医師、医療機関数の不足を指摘されているが、府では一定の

医療機関の効率的な配置が考えられている。従って単純に人口で割り出されるものではない。本町の場合、町内医療機関の受診率は低い状況から、ただちに住民不安



3月末で廃業した診療所

につながらないと考え。従来から校医・園医・予防接種の役割は、綴喜医師会などに協力依頼している。

町として町村会を通じて、国や府に対して地域医療対策の充実強化、医療保険制度の改革などを要望している。

## 買い物支援の考えは

Q 町内で買い物をした商品配達したり、電話で注文を受け付けるなどのサービスを始められたと聞いている。大変

が減り、買い物難民が増えていく現状をどう打開するのか。

民間商店では、ニーズにこたえるサービスに苦勞しているが、それに対応した行政側の方策はないのか。

人口減と並行して商店

事業  
村田理事

## 商工会と連携し支援

A 町内の多くの商店では電話での注文配達サービスに取り組みされている。

町として地元商店の活性化と生活支援のために商工会が実施したプレミアム商品券の発行に助成してきた。

地元商店では、今後も、地元の利点を生かしたきめ細かなサービスを続けていきたいと願っている。今後商工会と連携をとり必要なものに支援していく。

木田 鈴美 議員



## 高齢者福祉サービスの充実

Q 本町の高齢化率は26%を超えた。

町の第3期高齢者福祉計画では、高齢者の実態把握と総合窓口としての地域包括支援センターの設置を行うなど、予防重視型システムへの転換を目指した。

第4期計画では介護・福祉サービスの利用実態に合わせた見直しを行い、利用者本位のサービス提供に努め、高齢者を支援していくことになっているが、現実はどうか。

介護保険料は年金天引きで徴収されるが、受けるサービスは非常に限

定されている。

応益負担はやむを得ないものの、国や町の財政的な都合で、必要なときに必要なサービスが受けられず、納得できないという声を耳にする。

介護保険は在宅介護が基本に法が制定されているが、サービスは非常に限定され、増加している高齢者の単身世帯、高齢者夫婦のみの世帯、認知症介護高齢者など、保険の対象から外れる人々への対応と取り組みはどのようになっているのか。高齢者を対象にした生涯学習プログラムも取り

組まれているが、参加意欲はあるものの移動手段がなく参加できない人や、ひとり家に閉じこもって

外出しない孤独な高齢者がいる。これらの人への対応をどのようにしているのか。

民生  
池田理事

## 地域全体での支援を充実

A 高齢者単身世帯や高齢者夫婦世帯などへの取り組みとして、住み慣れた家庭や地域で、いつでも健康に生活を続けていくために、健康・生きがいがづくりの推進に取り組んでいる。

具体的には地域包括支援センターや在宅介護支援センターでの総合的な相談事業をはじめ、生活機能評価による虚弱高齢者の把握を行い、運動機能向上教室や転倒予防教室、ミニサロンでの健康教室、配食サービス事業を実施している。

また弥勒会に委託している生きがい活動支援通所事業や、社会福祉協議会に委託している軽度生活援助、寝具乾燥サービ

スがある。緊急通報装置、福祉電話の使用料助成、日常生活の給付を実施、22年度から特定高齢者の住宅改修助成を実施するため当初予算にも提案している。

今後、介護予防の取り組みを定着し、地域包括支援センターを中心に、保険・医療・福祉の総合支援体制の整備と、地域の団体やボランティアとも連携して全体での支援体制作りが必要と考える。移動手段がない高齢者には、マイクロバスによる送迎や、事業内容によっては個別送迎している。また社会福祉協議会でも福祉有償移動サービスを実施している。閉じこもりの高齢者へ

の対応は、保険師らが自宅を訪問し、実態把握や必要な相談・指導を実施している。

## 井手共同墓地の整備は

Q 井手共同

墓地は傾斜地にあり、とくに高

齢者にとっては、お参りの水を高い所まで持つて上がるのはとても体力が必要で苦痛だという声が多い。

高齢者のお墓参りに便利になるよう、高い場所に水汲み場の設備を作つていただきたい。



事業  
村田理事

## よりよい方策を検討

A 井手共同墓地内の傾斜地で新しい水汲み場を設置するには、場所の確保や管理面、排水面の

問題もあり、難しいと考えるが、よりよい方策がないか十分検討していく。

# #手町のボランティアサークル紹介

## 南谷川桜を守る会



会 長 木田 昭 徳  
会 員 数 15名  
設 立 平成14年3月

## 青谷川が多賀堤を美しくする会



代表者 村 田 勇  
会 員 数 76名  
設 立 平成16年11月1日

南谷川は地域の大切な空間です。

河川の清掃(ゴミ、空き缶等の収集)周辺道路、土手の草刈を行い環境美化、河川の愛護活動を行っています。

桜の季節にはちょうちんを吊り、お花見の雰囲気盛り上げ、地域住民はもとより他方面からの花見客も多く訪れ穴場の存在として好評を得ています。

山城うるおい水辺パートナーシップ事業に賛同しています。

当会は青谷川多賀堤で、「桜をはじめ四季折々の花木を植えて、地域住民の散策・憩いの場づくり」を目標に、全会員を対象に毎日曜日(1・4・8・12月を除く)輪番に出動して活動しています。

本年は、主として現状の維持管理活動と公園付近・多賀堤沿い・河川内の除草作業、ゴミ拾い作業等の活動を行い、年間を通じて地域住民の人達が快適に散策していただける遊歩道作りを継続していく予定です。

### 議会広報編集委員

委員長 岩 田 剛  
副委員長 木 田 鈴 美  
委員 岡 田 久 雄  
委員 森 田 泰 雄  
委員 村 田 忠 文  
委員 中 坊 陽

### 編集後記

町内外から7万1000人もの人出で賑わった玉川の桜も、新緑が眩しい季節となってまいりました。

3月議会では、主に平成22年度の当初予算を中心として慎重に審議いたしました。

また、4月11日の町議会議員選挙では新たに12名の議員が誕生いたしました。

4月30日に開催された臨時議会では、新議長をはじめ三役も決まり、心も新たに全議員は活力ある町づくりに向け全力で頑張ります。

「議会だより」も新委員が住民の皆様親しまれる誌面づくりに取り組みますので、これまで以上のご愛読をお願い致します。

今後とも相変わらずご意見ご要望をお寄せ下さい。

T・I